

---

O^Phan

紳士 閣體

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

O^Phan

### 【ノーダ】

N9831Y

### 【作者名】

紳士 閣體

### 【あらすじ】

誕生日にびんちゅん騒ぎをした俺は、酔い潰れたせいもあり、翌日の朝には昨日の記憶がはっきりしなくなっていた。

だからとこつのあるのだらうが、俺は今、とてつもなく動搖している。

朝を迎え、一日酔いで痛くなつた頭を押さえようすると、右腕に暖かいものを感じる。

どうしてだらうと寝ぼけ眼で右を向くと、僅か14歳くらいの女の子が裸で眠っていたのだ。

俺は、もしかすると、ロリコン（犯罪系の）の烙印を背負つてゐるのだろうか……。

## AからNを並べる

疑問点その1。

なぜ俺の頭が痛いか。答え、二日酔い。正解。未成年だけど、昨日は特別な日だったから仕方ない。だから、これは単なる自業自得で終えて次。

俺は服を着ているか。うむ、着ている。飲んだら脱いだまま寝てしまつことが今年の夏に判明したから、気をつけることにしている。まあ、夏だけの特殊な癖だったのだろうといつこにして、ネクスト。

その3。この部屋は誰の部屋か。続いてその4で、俺の貞操は守られたか。それから最後、その5。

俺の隣で深い眠りについている、この裸少女族、略して裸族は何なのか。

「……誰か、助けて」

俺は10月半ばの肌寒い朝から、一人で汗を発して自ら湿度を上げていた。いっそ干からびて死んでしまおうか。

昨日が誕生日だっただけに、ちょっと勘弁してもらいたいんだけど。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9831y/>

---

O^Phan

2011年11月29日19時50分発行